



8月20日 栗山地区共和 斉藤 幸浩さん

主な
内容

- 玉葱収穫開始
- 玉葱荷受市場消流懇談会
- 畑ミーティング2010
- ホクレン農感塾
- ステップアップのーみんず活動
- 北海道切花品評会に出品
- アクセス札幌で農産物直販
- 馬鈴薯共選施設稼働
- 各地区の作業風景

...etc

～ 玉葱収穫開始 ～

8月上旬から当JA管内で玉葱の収穫が始まりました。

今回、玉葱収穫の模様を撮影させていただいた斉藤さん（上写真）と黒田さん（7P参照）は口を揃えて「今年は6月の高温と雨不足の影響が全体的に小玉傾向になった」と残念そうに語っていました。

収穫作業は10月一杯まで続きます。

玉ねぎの消費動向等を確認

栽培講習会・荷受市場消流懇談会開催

8月3日、平成22年度そらち南玉葱振興会の栽培講習会と荷受市場消流懇談会がJA本所3階大会議室で開催されました。

まず、栽培講習会から開催され、普及センター南東部支所よりプロジェクターを用いながらの病害虫の防除や根切り、日焼け防止などについて詳細な説明がありました。

続いて、休憩を挟んで荷受市場消流懇談会に移り、来賓として招かれた荷受市場の方々からそれぞれ、平成21年度のJAそらち南産や北海道産の玉ねぎの品質、外国産も含めた消費の動向など様々なお話があり、出席した生産者の皆さんも熱心に話しに聞き入り、新しい情報を得ることが出来て非常に充実した懇談会になりました。



画面を見ながら注意点を確認



身振りを交え熱弁する(株)青森合同
青果・石岡部長

さらさらレッドの知名度向上に向けて

畑ミーティング2010開催



さらさらレッドを手にとって説明する
玉葱振興会・西田会長



さらさらレッドを観察する参加者

7月31日、栗山町でしか生産されていない貴重な赤玉ねぎ「さらさらレッド」をPRする『畑ミーティング2010』が開催され、栗山町民はもとより札幌市からの青果業者や一般市民など、およそ80名が参加しました。

詳しくは昨年10月号で紹介した通り、「さらさらレッド」は目の健康を維持する働きがあると言われているアントシアニンや、脂肪吸引を抑制するケルセチンが豊富に含まれており、より健康に良い玉ねぎとして、近年、栗山町内外で注目を集めています。

今年度は栗山町雨煙別のコカコーラ環境ハウスでのセミナーから畑ミーティングがスタートし、種子生産の模様や実際に「さらさらレッド」を栽培している畑を見学しました。

特に、栗山地区三日月の有限会社山田農場さんの圃場では「さらさらレッド」を実際に手に取ってメモをとったり、写真に収めたりする人が大勢いるなど高い関心を集めました。

今回の畑ミーティングによって、この栗山町特産の健康玉ねぎをさらに多くの人達に知ってもらい、関心を持ってもらうことができ

貴重な収穫体験に歓声

ホクレン農感塾開催



大きなメロンをゲット！



真っ赤なトマトはもう食べ頃
(カラーでお見せできないのが残念！)

7月31日、(株)農協観光の農業体験バスツアー「ホクレン農感塾」が南空知地区で開催され、40名の参加者が当JAの生産者2名の協力を得て、それぞれメロンとトマトの収穫体験を行いました。

まず、由仁地区古山の金山和則さん方ではメロンの収穫体験が行われました。金山さんの丁寧な説明の後に、一人ずつハサミを持ってツルをおそろおそろ切っていく、中には誤って生育途中のメロンのツルを切ってしまう人もありましたが、数日後に食べ頃を控えたメロンを手にして参加した皆さんはうれしそうなお顔を浮かべていました。

続いて栗山地区北学田に移動し、坂口春男さん方ではトマトの収穫体験が行われました。坂口さんの奥様の由紀子さんから食べ頃のトマトの見分け方を教えてもらってトマトを収穫した皆さんは、ハウスの中で普段感じることがないほど強いトマトのよい香りを感じて、とても驚いた様子でした。

いずれの体験もこのような機会がないとあまり経験できないものなので、参加した皆さんはとても満足したようでした。

ステップアップのーみんず活動

女性農業者学習グループが現地研修会

8月20日、由仁町の女性農業者学習グループ「ステップアップのーみんず」の現地研修会が実施されました。

まず、由仁地区古山の森本淳さん方では中玉トマトの生産状況について圃場を視察しながら奥様の宏子さんに話を聞かせてもらい、続いて、JAの古山営農センターでは、女性部の「風薫る郷クラブ」が取り組むしそ飲料の製造・販売について会長を務める由仁地区本三川の山田徳子さんから説明がありました。

森本さんと山田さんのそれぞれのお話から、参加した皆さんは自分ができるように取り組み方を真剣に想像して、特に「風薫る郷クラブ」の取り組みに対しては様々な意見・質問が相次ぎました。

研修会終了後、山田さんは「若い人達の率直な意見はとても参考になった」と感心していました。



「風薫る郷クラブ」の取り組みに対し
活発な意見交換が行われました



ラベルが新しくなったしそジュース

4名の作品が入賞

北海道切花品評会に出品

7月22日、第29回北海道切花品評会が（株）札幌花き地方卸売市場で開催され、当JAからも9名の花き生産者が作品を出品しました。

花き学術専門家、業界専門家、小売業者、消費者からなる審査員が所定の審査基準に基づき採点・集計し、得点の多い順から入賞作品を選出して、当JAからは由仁地区岩内の田中秀幸さんが出品したトルコキキョウが「花新聞ほっかいどう賞」を受賞したほか、計4名の方の作品が見事入賞を果たし、JAそらち南産花きのレベルの高さを全道にアピールしました。

←「花新聞ほっかいどう賞」を受賞した田中秀幸さんのトルコキキョウ



「北海道生花商協同組合賞」を受賞した堀泰夫さんのトルコキキョウ→



大盛況のうちに終了

中央農試公開デー開催

8月6日、長沼町の独立行政法人北海道立総合研究機構中央農業試験場で平成22年度の公開デーが開催されました。

土壌分析や病害虫診断等の相談コーナーは昨年と同様に近隣からの多くの来場客が詰めかけ、様々な展示物や体験コーナー、試食コーナーも人気を集めていました。

農産物PR即売会の会場ではJAそらち南の農産物が販売され、新鮮で格安なメロン、トマト、長ねぎ、ピーマンなどにお客さんが殺到して大変忙しい1日でしたが、JAそらち南を大いにPRできました。



人気を集めた即売コーナー→

←展示物を見学する生産者



一般女子の部で2位

第36回由仁町ムカデまつり

8月8日、今年で36回目となる「ムカデが走る夏祭り」が由仁町元気づくり館前で開催されました。

当日は朝から好天に恵まれ気温も午前中から急上昇する中、会場では(株)メリーフークがテントを立てて飲食物や新鮮な地場産野菜を販売し、暑さの影響もあり冷たい飲み物は特に人気を集めました。また、南空知コボロの会も綺麗な切花を販売し、花き産地として名高いJAそらち南をアピールしました。

ムカデ競争では、当JAから参加した一般男子の部1チーム、一般女子の部2チーム、ナイスミドル1チームのうち、一般女

子の部で「ゆかいなサザエさん」チームが見事に2位に輝きました。



力走する「ゆかいなサザエさん」チーム

立派な「ムカデ」を目指して

JAカレッジ生職場体験実習



農家実習でイモ掘りを手伝う矢萩さん

8月16日～9月3日の3週間、JAカレッジの本科生の矢萩健さん(22歳・旭川市出身)が各部で職場体験実習を行いました。

JAカレッジ生の職場体験実習はJA各部門での様々な実務を通じてJAの運営を学び、これまでJAカレッジで学習してきたことの理解をさらに深めることを目的としています。

矢萩さんはやや緊張しながらも各部門の実習において真剣な面持ちで取り組み、また、わずか3日間だったものの、農家実習においては実際の農作業を体験して、生産現場の大変さを実感していました。

札幌で新鮮野菜を即売

オールニユーカーフエスタに出店



たくさんの農産物が並べられた販売ブース

品種小麦「ゆめちから」を原料にしたパンなどを販売しました。

売り場では、栗山地区北学田の藤本光行さんと栗山地区継立の片山肇さん、そしてJA職員がお揃いのハッピを羽織って、訪れた大勢の方々を接客し、ス

イートコーンなどはあつと言う間に売り切れてしまいました。

また、時間を限定して行った野菜の袋詰め放題には行列が出来るなど大好評でした。



行列が出来るほどの盛況ぶり

8月21・22日、『オールニユーカーフエスタ2010』が札幌市白石区の「アークセスサッポロ」で開催され、JAそらち南が出店し、馬鈴しよや玉ねぎ、かぼちゃ、スイトコーン、お米、期待の新

組合長杯ゲートボール大会開催



4つのリーグに分かれての熱戦!

8月9日、第2回JAそらち南ゲートボール大会が由仁町東三川グラウンドで開催されました。

当初は8月2日に開催される予定だったものの、グラウンドコンディションの不良により一週間後に延期されてしまったために、この日に向けて練習してきた参加者の皆さんの意気込みは相当なものでした。

昨年は、栗山・由仁それぞれの支部で大会が実施されましたが、

今大会は始めて両支部合同で開催され、4つのリーグに分かれて得点を争った結果、古川チームが見事優勝を果たしました。

以下、2位には雨煙別チーム、3位には中三川チームと

川端Bチームがそれぞれ入り、最後に参加者全員が万歳三唱をして大会の成功を祝しました。



優勝した古川チーム

年金友の会パークゴルフ大会

8月3日、年金友の会栗山支部のパークゴルフ大会が栗山ダムパークゴルフ場で開催され、49名の会員の方々が参加しました。

当日は絶好のゴルフ日和となり、年金友の会栗山支部の森会長とJA中島専務の挨拶の後、優勝杯の返還が行われ、森会長の「競技開始!」の発声で大会はスタートしました。



カップを目の前に集中が高まります。

開会式が始まった午前8時30分から気温がグングンと上昇し、ラウンド中になると相当暑さが厳しかったものの、参加者の皆さんは水分補給を怠らずに元氣一杯にA、B、Cの3つのコースを回りました。

熱戦の結果、男性は76点で高田邦夫さん、女性には89点で市川美恵子さんが優勝されました。



開会式の様子

各地区の作業風景



かぼちゃ収穫 栗山地区継立 本藤 力勢さん
栗マロンをおよそ200a作付けしています。
今年は8月14日から収穫を開始しました。



玉ねぎ収穫 由仁地区古川 黒田 良行さん
8月19日から収穫を開始し、写真を撮影した
20日はオホーツク222を収穫しました。



玉ねぎ共選 富士玉ねぎ共選場

8月10日から共選が始まりました。
栗山・由仁両地区の玉葱を一括して選別してい
ます。



長ねぎ共選場本格稼働 富士長ねぎ施設

8月9日より自動選別機が稼働し、選果作業が
本格化しています。11月まで続く予定です。

由仁地区の馬鈴薯共選施設「ポテト館」
で食用馬鈴薯の共選が始まりました。
8月9日に1日だけ選別した後、17日か
ら本格的に施設が稼働しましたが、今年の
馬鈴薯は天候不順による収量の減少が見ら
れ、また玉の大きさも例年より若干小さ
く、残念ながら幸先のよいスタートとはな
りませんでした。
今後は他府県産から北海道産に切り替わ
る端境期での価格の高騰が期待されてお
り、出荷された馬鈴しょを入れたコンテナ
が何基も詰まれています。



選別作業の様子

馬鈴薯施設共選施設稼働

食用馬鈴しょ共選開始

収穫の秋 秋の实り

に改めて感謝

昔から、日本人が待ちに待った「収穫の秋」を迎えました。米や粟、ブドウから、さらに柿やリンゴが出回ると、秋が深まってくるのを感じます。

ハウス栽培や新品種の開発、保存技術の発達などで、今でこそいつの季節にもさまざまな農産物が出回るようになりましたが、昔の人々にとっては、命を支える食料である米をはじめ、多くの農産物の収穫は秋でした。実りに感謝するお祭りが秋になると各地で開かれます。さらに、長い冬に備えて干し大根や凍み豆腐、たくあん漬けなどの保存食作りが始まりました。保存・加工の技術は、日本が誇る食文化なのです。

米は、たんばく質を含め、生命の維持に必要なほとんどの栄養素が入っているすぐれた食品です。「米があつたから、日本人は何千年も長い間生き続けてくることができた」という評価があるほど、日本人には欠かせない食料でした。

また、米は、アジア・モンスーン気候の穀物であり、雨が多くて湿気が高い地域に最も適した農産物です。また、麦や大豆は連作障害があるため同じ畑で連続して作ることができませんが、水田で作る米は、連作障害が

ありません。国土が狭く、雨が多い日本には、最も適した主食なのです。

昔の人は、「初物を食べるときには、笑って食べる」と子どもたちに言いつて聞かせてきました。その年初めのの農



産物を食べるとき、「今年も秋の实りをいただいたいるんだな」と作つた人に感謝していただく。豊富に収穫があることが当たり前ではなかった時代の人たちは、食べ物へのありがたさをこや

つて伝えてきたのではないのでしょうか。

ちよつと前の出来事になりましたが、世界中で米不足となつた時がありました。ベトナムやタイなどの米の輸出国が不作となり、世界で米の価格が急上昇し、庶民が米を食べられなくなつて暴動が起きました。

これまで、日本でも一部の経済学者の中には、「日本に食料がなくなつたら、輸入すれば良い」と主張してきた人がいました。しかし、この世界的な米騒動によつて、いつでも食料が輸入できるわけではないということがわかりました。自分たちの国で食べるものは、自分の国で作るということが、いかに大切なことがわかる出来事でした。

今や、日本の農業人口は、国民全体のわずか3%未満となりました。しかも、60、70歳を超える世代が中心となり、1億を超える日本人の食料を支えているのです。会社勤めをしているサラリーマンの世界では、「60歳定年」といわれてきましたが、定年を越える世代が、まさに中心となつて日本の食料を支えているのです。

収穫の秋。秋の实りに改めて感謝を食べ物にいただきたいものです。

営農指導課からのお知らせ

水稻の直播栽培に

取り組みませんか？

そらち南農協水稻直播部会では、春先の作業労力軽減や移植苗生産コスト削減及び将来の経営面積の拡大等を見据え、直播栽培に取り組んでおります。

近年、水稻の直播栽培技術も向上し安定的に生産が行えるようになってきた状況です。

次年度に向け部会内で湛水播種機の導入を検討していく必要があります、23年度作付希望者を時期早々ではありますが募集致します（作付面積集約のため9月中にご連絡ください）。

希望者・その他不明な点はお手数ですが当部会事務局までご連絡願います。

そらち南農協水稻直播部会

会長 元木 斎

連絡先（事務局）

JAそらち南本所

営農部営農指導課 坂森

電話 72-11409（直通ダイヤル）



ストップ農作業事故！

みんなの願いです。

これから秋の農作業が本格化します。安全作業への心構えと、農作業機械の整備、点検を万全にし、作業方法なども確かめ十分に気をつけましょう。

・トラクター転落事故も発生しております。圃場の出入りには十分気をつけましょう。

・コンバイン等の機械に手を入れて怪我をする事故も発生しています。必ずエンジンを切つて、止めてから機会の不具合を確認してください。



人事異動のお知らせ

林保 和彦

由仁支所由仁営農センター考査役

菊池まどか

由仁支所金融共済課経営相談係

細川 育

三川出張所金融共済係

高尾香奈美

金融部経営相談課経営相談係

山口愛祐美

金融部金融課（子会社臨時採用）

（8月1日付）



玉葱保管倉庫の新築工事が終了しました。竣工式の模様は10月号でお伝えいたします。

第8回理事会報告

日時 平成22年8月20日(金)午後
2時30分より第8回理事会が開催
され、原案通り承認されました。

【報告事項】

経済委員会報告

農家経済対策委員会報告

定例監査報告

農業委員会報告

農政対策

各部報告

【審議事項】

議案第1号

土地賃貸借契約の締結について

議案第2号

旅費・実費弁償規程の一部変更

について

議案第3号

稲作農家等支援事業収支予算の

変更について

議案第4号

平成22年度土づくり緑肥作物導

入奨励について

議案第5号

平成22年産種子馬鈴しょ概算金

の支払いについて

議案第6号

組合員に対する資金の貸付につ

いて

議案第7号

職員に対する寒冷地手当並びに
燃料手当の支給について

9月の行事

7日

玉葱倉庫竣工式

11日

白石区交流稲刈り体験ツアー

28日

第9回理事会(予定)



9月の売り出し予定 Aコープ

10~11日...Aコープ旬鮮情報

14~15日...Aコープ88円均一

17~18日...Aコープお買得市

20~21日...由仁・三川秋祭り 第一弾

22~23日...由仁・三川秋祭り 第二弾

24~25日...Aコープくりやま

秋祭りセール

28~29日...Aコープ月末大市



A-COOP 由仁店・三川店

○三川店...毎週日曜日休み

JA共済からのお知らせ

7月

自動車...28件
火災...0件
火傷...2件

累計(2~7月)

自動車...171件
火災...1件
火傷...12件

事故件数

組合員の動き

▽正組合員戸数

▽組合員数

正組合員数

うち法人

准組合員数

うち団体

★おくやみ申し上げます。

亡くなった方

斉藤 寛

橋本 マキノ

松村 初枝

吉田 ハル工

3,943戸

1,570名

2,069名

40名

81才

98才

79才

88才

栗山町共

栗山町南学

由仁町岩

由仁町岩

内

内

内

内

内

内

内

内

内

内

内

内

内

内

内

内

内

内

内

内

内

内

内

編集後記

この文章を書いている
現在、日中はまだまだ暑
いものの、夜はだいぶ過
ごしやすい気温になりま
した。また、お盆になる
前では、たとえ晴れてい
ても風が強い日が多か
ったのに、もうそんな
に強い風が吹くこともあ
りません。

思えば就職と同時にこ
ちらに移り住んだ当初、
春から夏にかけて毎日の
ように風が吹いていたの
には驚かされました。今
では、すっかり馴れて意
識することもありません
が、広い北海道といえ
ども、このような気候
は珍しいのではないかと
思います。

今年は水稻の生育がと
ても早く、この組合だよ
りが皆さんのお手元に届
く頃には、もう稲刈りが
始まっているかもしれま
せん。美味しい新米を早
く味わいたいものです。



そらち南 くみあいだより

2010 9月号 Vol.20

■発行 2010.9.10(毎月1回)

〒069-1511 夕張郡栗山町中央3丁目104番地
発行/そらち南農業協同組合 管理部企画審査課
TEL/0123-72-1313 FAX/0123-72-3364
HPアドレス <http://www.ja-sorachiminami.or.jp>
メールアドレス info@ja-sorachiminami.or.jp
印刷/山東印刷